

小牧市公共施設適正配置計画

適正配置計画とは

どんな計画？



それぞれの施設は

今後どうなるの？



平成29年3月策定

令和5年3月改定

 小 牧 市

1 公共施設適正配置計画の概要

✓ 公共施設適正配置計画とはどんな計画？

人口減少や少子高齢化の進展は、公共施設に対する市民ニーズに変化をもたらし、さらに税収の減少や国民健康保険・介護保険・社会福祉など社会保障関連経費の増加により、財政の厳しさが増していくことが懸念されます。こうした状況に対応するため、**公共施設の複合化や機能集約等**に取組み、**施設総量の適正化による維持管理・建替え費用の削減を図る**必要があります。また、**市民ニーズに合った公共サービスを提供するために施設の見直し**も必要となります。さらには、**各地区の人口動向や地域特性に応じて対応**していくことも必要となります。

このため、別途策定した「小牧市公共ファシリティマネジメント基本方針」（以下「基本方針」という。）において、方針の一つに「公共施設の配置や総量の適正化」を掲げ、その取組みとして**地域バランスの取れた施設配置や施設の総量の適正化に向けた「小牧市公共施設適正配置計画」（以下「適正配置計画」という。）**を平成 28 年度に策定しています。

適正配置計画は、**公共施設の統廃合、複合化や機能集約等に計画的に取り組む**ことで、施設総量の適正化による維持管理・建替え費用の削減を図り、施設の無駄を省き効率よく利活用することで、**施設サービスの向上を図っていく計画**です。本計画では、**施設ごとに存続、廃止、建替えなどの今後の取組みとスケジュール**を示します。

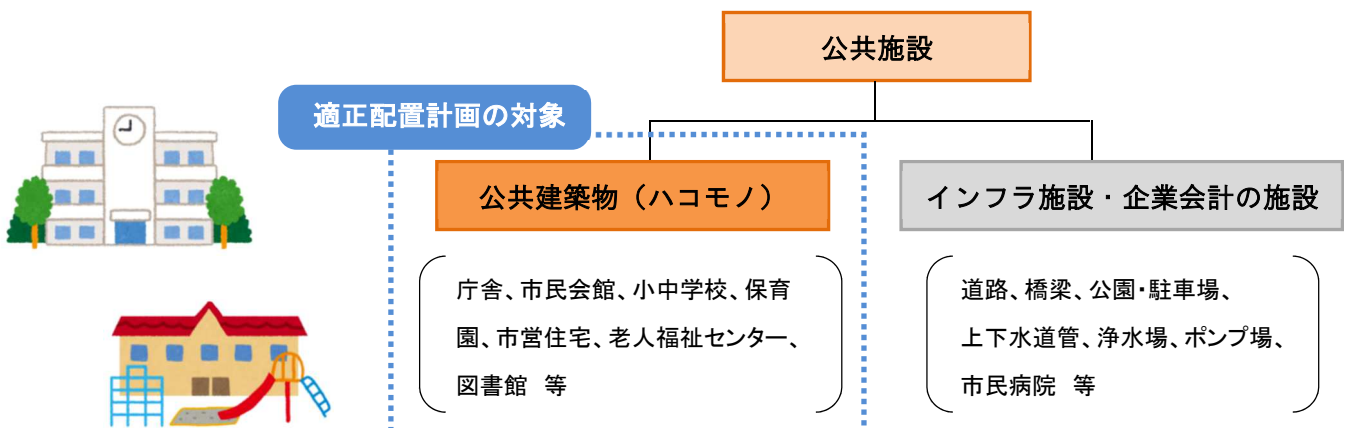
また、施設を適切に維持管理し、長寿命化を図る「**小牧市公共施設長寿命化計画**」（以下「**長寿命化計画**」という。）と併せて**取り組む**ことによって、**公共ファシリティマネジメントを推進**していきます。



地域バランスの取れた**施設配置**や、**施設の総量の適正化**を目指して、**施設ごとの今後の取組み内容**を示した計画となっているんだね。

✓ 対象施設

適正配置計画では、**庁舎、小中学校、保育園などの公共建築物(ハコモノ)**を対象施設とします。



✓ 計画期間

平成 29 年度から令和 28 年度までの 30 年間とします。また、10 年ごとに第 1 期～第 3 期に分け、第 1 期はアクションプランとして実行性の高い計画を、第 2 期、第 3 期は将来構想を示しています。

平成 29～令和 8 年度	令和 9～18 年度	令和 19～28 年度
第 1 期	第 2 期	第 3 期
実行性の高い計画とする	構想としての計画とする	

アクションプラン



第 1 期は実行性の高い計画とするために、詳しいスケジュールを示すんだね。

20 年、30 年後の、人口動向や私たち市民のニーズなどの正確な予測は難しいから、第 2 期、第 3 期は構想だけを示しているのね。



2 適正配置に向けた基本的な考え方

適正配置計画では、基本方針で掲げた基本理念を達成するために方針 1 とその取組みを進め、次の6 つの考え方により公共施設の適正化を図っていきます。

➤ 適正配置にあたっての 6 つの考え方

1. 公共サービスの需給バランス
2. 施設の設置目的と利用実態
3. 民営化などの管理運営方法
4. 施設（ハコモノ）の視点から機能（サービス）の視点への転換
5. 施設の効率的な利用
6. 施設の長寿命化

方針 1：公共施設の配置や総量の適正化 「公共ファシリティマネジメント基本方針」より抜粋

- ・利用が少ない施設については、将来の状況等も考え、他への転用や統廃合等を検討します。
- ・規模縮小（ダウンサイジング）や複合化、機能集約などを検討します。
- ・利用エリアを見直し、これまでのエリアを越えた施設の利活用などを検討します。

本計画における施策は、SDGs の多くのゴールと関連があり、「つくる責任つかう責任」「住み続けられるまちづくりを」「質の高い教育をみんなに」等の達成に貢献するとともに、将来にわたって持続可能な社会の実現を目指し、適正な公共施設のマネジメントを促進していきます。

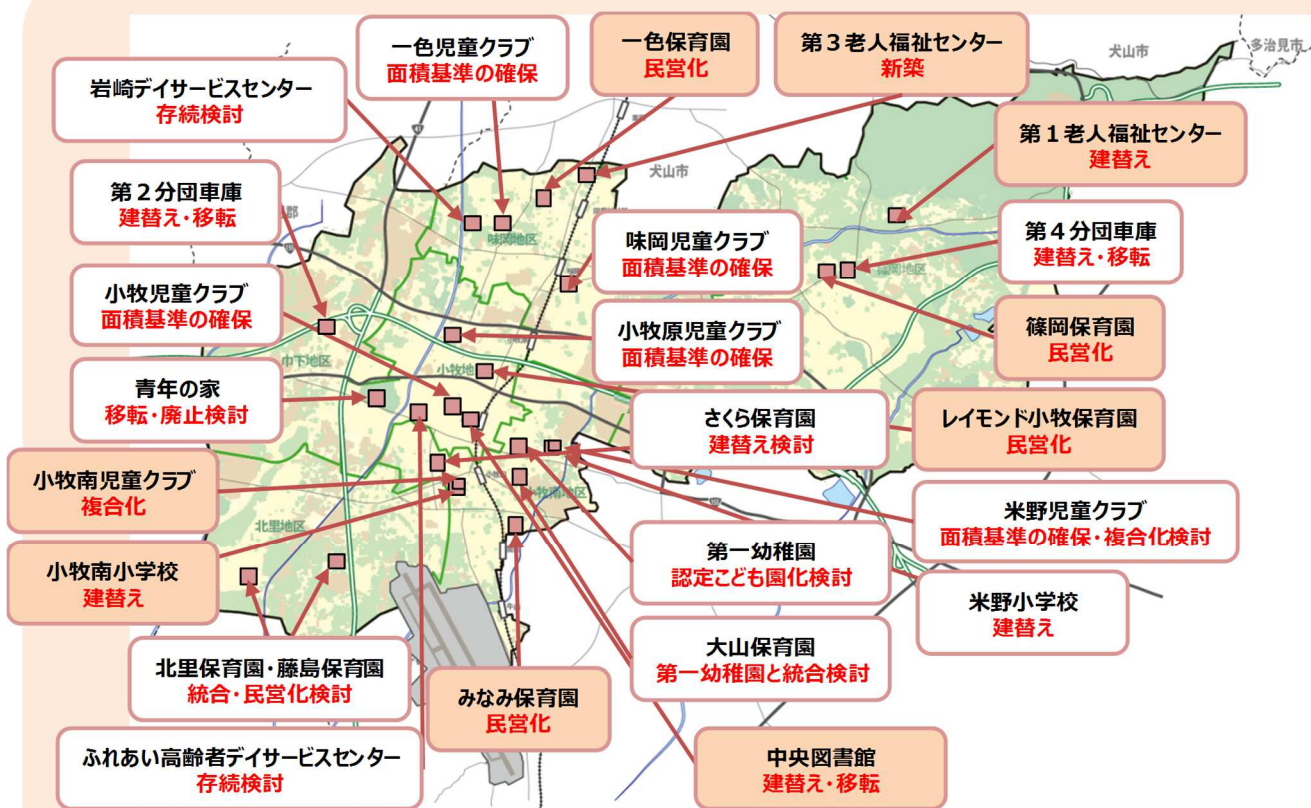


3 施設ごとの今後の取組み

基本的な考え方に基づき、建物の状況や利用状況等を検証し、**施設ごとに存続、統合、建替えなどの今後の取組みを検討**しました。

その中でも、**計画期間（平成 29～令和 28 年度）**に具体的な取組みを行う施設について、その取組み内容を**第 1～3 期ごとに整理**しました。

▶ 第 1 期（平成 29～令和 8 年度）



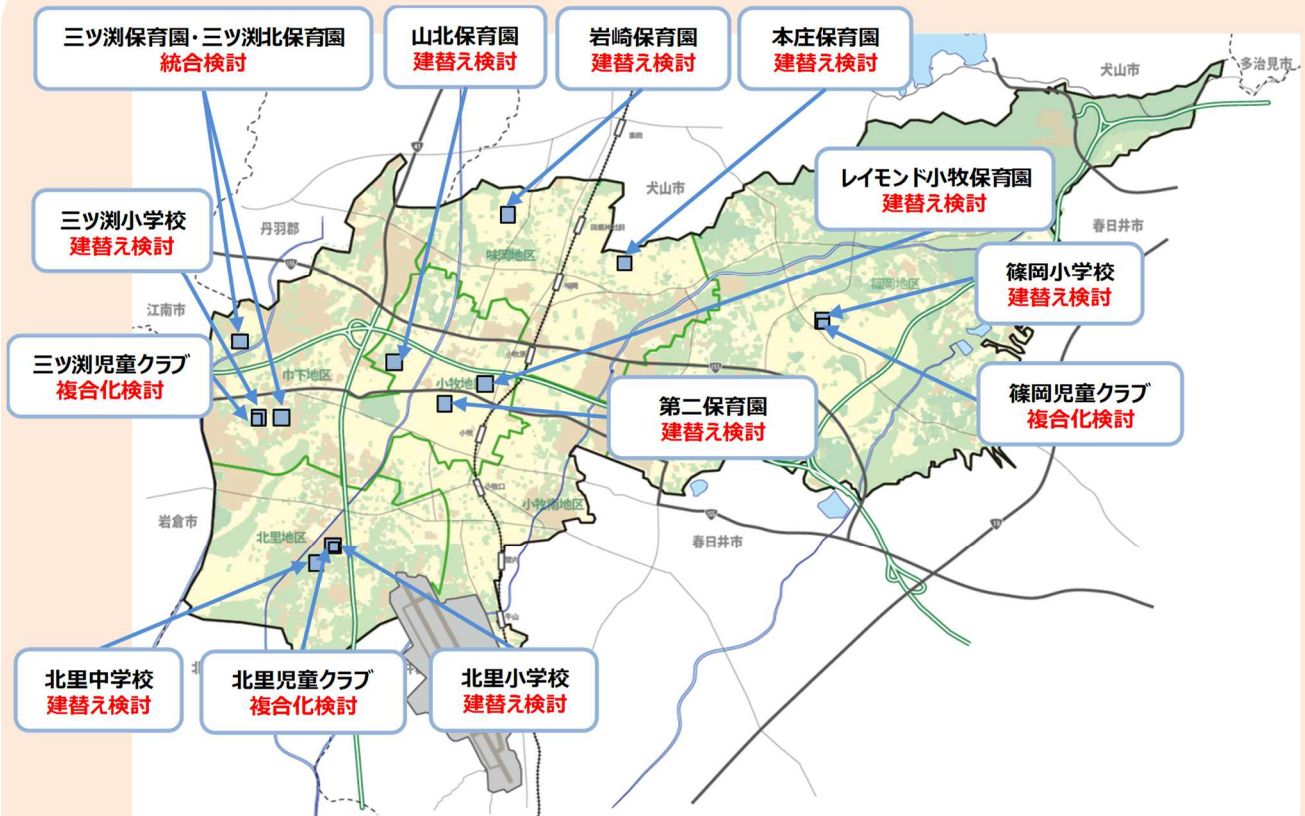
※黒字は「施設名」、下段の赤字は「取組み内容」、枠内の赤着色は「実施済み施設」を記載しています。

また、実行性の高い計画とするため、第 1 期の取組みは、5～6 ページに詳しいスケジュールを示しています。



計画期間内に取組みを行う施設は、子どもや高齢者に関する施設が多いのね。

▶ **第2期（令和9～18年度）**



▶ **第3期（令和19～28年度）**



✓ アクションプラン

第1期に予定している取組みは、実行性の高い計画とするため、**アクションプランとして10年間の具体的なスケジュールを示しています。**



米野小学校は古いし、建物配置など使い勝手が悪い部分もあるから建替えるのね。

□ 学校教育系施設

(年度)

施設名	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
小牧南小学校	準備・調整			建替え						
米野小学校						準備・調整			建替え	

□ 子育て支援施設

(年度)

施設名	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
レイモンド小牧保育園	民営化									
さくら保育園						第2期での建替えに向け検討・準備、利用者説明				
みなみ保育園	指定管理 ※	民営化		※準備・利用者説明						
一色保育園	準備・利用者説明				合同保育	民営化				
篠岡保育園	※	民営化		※準備・利用者説明						
北里保育園・藤島保育園	統合及び民営化に向け検討・準備、利用者説明									
第一幼稚園・大山保育園	認定こども園化に向け検討・準備、利用者説明									
小牧南児童クラブ	準備・調整			複合化						
小牧、小牧原、一色、味噌岡児童クラブ	面積基準の確保									
米野児童クラブ								準備・調整		複合化

※平成29年度から令和4年度までは実績を記載しています。



保育園の老朽化が進んでいるので、**順次建替え・統合**を検討していくのね。

面積が狭い児童クラブは、**基準の面積まで拡大**するんだな。





会館・老人憩の家は数が多いし、将来どうしていくのかを統合や廃止も含め、今後考えるのじゃな。

□ 市民文化系施設

(年度)

施設名	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
会館 施設全体	新設、建替え及び維持管理などの設置や運営のあり方について検討										
							市所有の会館総数を減らす 手法等の検討				
青年の家							施設の移転又は廃止などについて 検討				

□ 保健・福祉施設

(年度)

施設名	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
第1老人福祉 センター	建替え		供用 開始							
ふれあい高齢者デ ィサービスセンター					存続検討					
岩崎ディサー ビスセンター					存続検討					
第3老人福祉 センター					新築		供用 開始			

□ 行政系施設

施設名	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
第2分団車庫									建替	供用 開始
第4分団車庫							建替	供用 開始		

4 適正配置計画の取組みによる効果の検証

本計画で示した今後30年の各施設の建替えや統合などの取組みを、一定の条件※を想定し、全て実施したと仮定した場合、延床面積は3.2% (12,617 m²) 減少し、建替えや維持管理費用は約54億円縮減する結果となり、一定の財政負担の軽減効果が確認されました。

しかし、本市の財政の先行きは、将来の人口減少による市税収入の減少や少子高齢化による社会保障関連経費の増加などにより、より一層厳しい状況になると考えられます。このことから、人口動向や財政状況を見極め、さらなるコストの縮減に取組んでいく必要があります。

このため、人口減少や市民ニーズに注視し、適切な時期をとらえて、適正配置計画に加え長寿命化計画の取組みを併せて推進していくことで、将来にわたり持続可能な公共サービスの提供を図っていきます。

※建替え（検討を含む）する場合に、規模縮小（ダウンサイジング）を行い、延床面積を20%削減するなど。



キミと一緒に、育っていききたい。
Komaki

小牧市公共施設適正配置計画（概要版）

発行日：令和5年3月

発行：小牧市

編集：小牧市総務部資産管理課

〒485-8650 愛知県小牧市堀の内三丁目1番地

TEL：0568-39-6533（直通） FAX：0568-75-5714

E-mail：shisankanri@city.komaki.lg.jp